令和９年度　一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市６
柏市立柏高等学校　全日制の課程　普通科

１　期待する生徒像

基本的生活習慣が確立されており、次のいずれかに該当する生徒

ア　卒業後の進学に高い意欲を持っており、総合進学クラス等で積極的に学習活動に取り組む意志がある。

イ　運動・文化部活動への取組が積極的で、入学後も部活動を継続し、学習活動に取り組む意志がある。

ウ　外国語学習に意欲があり、異文化理解に興味・関心が高く、入学後も国際教養クラスで学習活動に取り組む意志がある。

エ　やさしく、思いやりがあり、学校行事・ボランティア等の活動に積極的に参加し、学習活動に取り組む意志がある。

２　選抜資料

⑴学力検査	５教科の学力検査の得点
⑵調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑶学校設定検査	学校が定めた以下の検査の結果
自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア　論述による自己表現 実施形態：検査室で一斉に実施 字数　　：５００字以上６００字以下 検査時間：５０分 イ　実技による自己表現　次の実技種目のうち１つを選択 野球(男)・サッカー(男女)・陸上(男女)・ソフトテニス(男女) バスケットボール(男女)・バレーボール(女)・柔道(男女)・剣道(男女) 卓球（男女）・吹奏楽(男女)・書道(男女) 実施形態：個人またはグループで発表 検査時間：４０分程度(種目により異なる)

３　評価項目及び評価基準

⑴学力検査　〔５００点満点〕

評価項目	評価基準
ア　５教科の得点合計	５教科（各教科１００点満点）の合計５００点満点で評価する。
イ　個々の教科の得点	０点の教科がある場合は、審議の対象とする。

⑵調査書〔１５５点満点〕

アの数値にイ及びウについて加点（上限２０点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア　教科の学習の記録	「各教科の評定の全学年の合計値にＫ＝１を乗じた数値」で評価する。評定１の教科が複数ある場合は、審議の対象とする。
イ　特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
ウ　部活動等の記録 特記事項	資格・特技で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。

⑶ 学校設定検査〔１５０点満点〕

自己表現

次の①、②について、それぞれ２名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(非常に優れている)・b(優れている)・c(標準的である)・d(標準に達していない)の４段階で評価する。aを25点、bを15点、cを10点、dを5点とし、2名の評価者の評価(各75点満点)を合計し、得点化する。

① 論述による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてのまとまりがある。
(イ) 文章表現	誤字や脱字がない。文法が正しく用いられている。
(ウ) 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

② 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(イ) 基本的技能	当該種目における基本的技能を身に付けている。
(ウ) 専門的技能	当該種目における専門的技能を身に付けている。

４ 選抜方法

⑴ 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=1)	加点	自己表現	
５００点	１３５点	２０点	１５０点	８０５点

⑵ その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。